

PTAだよりNO6

ベルマーク活動のご報告

今年度も、ベルマーク活動にご協力いただきましてありがとうございます。

ベルマークの商品交換報告です。57,860点をライトサッカーボール6個、ドッチビー6個、ミニコンプレッサー1台に交換していただきました。またベルマークの集計結果が財団より通知された15,135点分は、来年度に集計した分と合わせて商品と交換させていただきます。

今後とも、ベルマークの回収に一層ご協力をよろしくお願いいたします。

第31回膳所火祭り

3月5日（土）、なぎさ公園で第31回膳所火祭りが行われました。琵琶湖への恵みと感謝の気持ちを込め、100本のヨシたいまつに点火するお祭りです。

PTAは、膳所のまちづくり委員会の一員として火祭りに参加してきました。琵琶湖沿いに杭を打ち、たいまつを巻きつけ、点火を行いました。

今年度はコロナ禍のため無観客で行われましたが、近江の春の訪れを地域の皆様とすることができ、とても心地よい夜でした。



「コロナに負けない地域×ICT事例」 優秀賞受賞

PTAでは、滋賀県地域情報化推進会議のデジタルを活用した地域課題解決事例選「コロナに負けない地域×ICT事例コンテスト」に応募しました。

その結果、LINEグループなどを活用した取り組みが評価され、優秀賞10選に入り、賞金5万円を獲得しました。詳しくは、主催者のホームページをご覧ください。

今後とも、より良い活動のため、オンライン活用なども進めながら、取り組んでまいります。



大津市PTA連合会主催講演会に 参加してきました



1月15日（土）、生涯学習センターで行われた講演会に参加してきました。開会にあたり、大津市PTA連合会の後藤会長は、「PTAとは子どもの命を守ることができるボランティア」、来賓の大津市教育委員会、島崎教育長も、「PTAは、子どもの笑顔のためのボランティア」と述べられました。子どもたちのために、私たちが自らの意思で取り組むのがPTAであると再認識しました。

講演「パラリンピックを通して考える共生社会 ～夢を叶える環境づくり～」

最初の講師は、全盲のスイマーとして、6度のパラリンピックに出場、金メダル5個を含む21個のメダルを獲得した、河合純一さん。「障害」を切り口に、子どもたちが夢を持てる共生社会について、お話しいただきました。

障害には、「足が悪い」といった「機能障害」、「車いすに乗っている」といった「能力障害」のような、個人や医学が対応するものではなく、そこに「階段しかない」といった「社会的不利」があります。これは、いわば社会が生み出す障害であり、一人ひとりの考え方が変わらなければ解決しません。パラリンピックの価値として「公平」であることがあります。健常者も障害者も同じ扱いという「平等」ではなく、同じスタートラインに立てるということ。これが、インクルーシブな社会、共生社会につながる考え方です。私たちPTAも、そのような環境を実現していくことで、子どもたちが夢に向かっていくことができるようになるのではないかと感じました。

また、河合さんは、夢を叶えるためには、夢を画像的、動画的に描き、失敗してもそれを見失わずイメージする力が大事だとおっしゃいました。結果は、「考え方」と「熱意」と「能力」の掛け算。「考え方」にはマイナスもあります。現状の立ち位置を知り、具体的な目標を立て、失敗（＝自らの課題）から逃げずに向き合うこと。自分を知るためには、自分らしさ、ウィッシュリストをたくさん書き出してみること。そして、自らコントロールできないことに右往左往しないこと。経験に基づいた、たくさんの貴重なお話を聴くことができました。

講演「100%伝えるために～ 放送の現場から学校、家庭へ」

2人目の講師は、滋賀県出身で膳所高校にも通っておられたという、NHK放送研修センター・日本語センターのアナウンサー、野村正育さん。最後には、関西弁も飛び出しましたが、終始穏やかなトーンで、美しい共通語（「標準語」という言葉は、方言を否定するようで好まないそうです。）を話されていました。

現代社会では、筋道を立てて、自分の考えを話すことが求められ、学校教育も一方的に知識を伝えられる「受け身型」から、コミュニケーションを重視し、課題を見つけ、解決していく「発信型」へ、国語も思考したり、自分から表現したりすることに重点を置くようになってきました。

目で文字を捉える「書き言葉」と、耳で声を聴く「話し言葉」は、伝わり方も違います。また、双方向の「おしゃべり」と、一方向の「人前で話すこと」にも、大きな違いがあります。話し言葉は、文字情報と違い、耳で聴いても、すぐに消えてしまいます。

相手に、しっかりと伝えるためには、「1 結論を先に言う」、「2 （1つの）文章を短くする（主語・述語1組）」、「3 全体から部分へと話す」、「4 情報を整理し、筋道を立てて話す」ことが大事であるということを、多くの実践を交えながら、わかりやすく丁寧にお話しされました。ほんの少しの工夫で、おどろくほど伝わりやすくなることがわかりました。

PTAでは、今後も機会をとらえて、会員みなさんに、研修の情報などを発信していきます。

今年度もたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。
来年度もどうぞよろしくお願い致します。